

グッドキャリア企業アワード2017

イノベーション賞受賞

【人材開発統括官表彰】

有限会社ウェルフェア三重



【評価のポイント】

充実したステップアップ制度による
「個の向上」を大切にしたキャリア支援

経営者からのメッセージ

介護業界は人材離れと言われていますが、職員一人ひとりのキャリア形成を支援し、成長を実感してもらえれば「人は離れていかない」ということを学びました。今後も魅力ある介護の職場作りにチャレンジします！



代表取締役
西村 昭徳

企業概要

- 事業概要：三重県伊勢市、度会郡南伊勢町、津市、鈴鹿市に介護付有料老人ホーム、グループホーム、小規模多機能センター等の7事業所を展開
- 業種：老人福祉・介護事業
- 所在地：三重県伊勢市
- 従業員数：107人（男性41人/女性66人、うち非正規雇用21人）
- 平均年齢：43.8歳
- 創業年：2002年

キャリア形成支援担当者紹介

【キャリア形成支援の取組を担当して良かったこと】

多様な研修を実施していく中で職員一人ひとりが真剣に取り組み、気づきや成長していく姿を見られたこと

【キャリア形成支援の取組で苦労したこと】

研修の日程と参加者の日程調整や動機づけ出来る研修の企画・計画の作成



本社
キャリアコンサルタント
事業部
ふなはし まなぶ
舟橋 学
担当年数：5年

取組を始めたきっかけとこれまでの経緯

職員に対して充実した研修を提供していくために、社内に教育専門機関であるウェルフェアアカデミーを組織化しました（グループ法人の職員も利用可）。目的は「目指せ！個の向上」で、これまでの業種の枠だけにとらわれるのではなく、個人が多様な角度からスキルアップできる研修の企画運営を進めてきました。4年が経過した現在では9割を超える職員が研修を受けております。そして資格取得に直結し給料アップにもつながる検定制度を実施しています。頑張る職員が正しく評価されるシステムの採用によりさらなるモチベーションのアップと「個の向上」につながる取組を実施しています。

具体的な取組

職員教育専門組織「ウェルフェアアカデミー」の運営によるバラエティに富んだ研修を実施

ウェルフェアアカデミーの運営を開始して以来、同業他社とは切り口の違う研修を多く行っています。35歳以下の若年者向け研修、経験1年未満の職員への研修、同じ職責を担う職員の研修、社会情勢に合わせたテーマの研修（BCP、ストレスマネジメント他）などを毎回選抜した職員に対して20時間以上の研修を行っています。そして、研修を受けた職員が各施設で自分が勉強した事をフィードバックできるように、伝達講習を義務づけており、そこで改めて自分が他者に対して講義を行う事によって伝える能力、まとめる能力、表現する能力など「個の成長」に役立つシステムで研修全体を企画、運営をしています。



今後の課題と展望

スキルアップしきれない職員への「個のケア」と、「組織力UP」に向けた企画の提案、支援

「個の向上」を進めている中でいろいろな問題を抱えながらスキルアップしきれない職員もいますので、「個のケア」として当社専任のキャリアコンサルタントがメンタルヘルスやキャリア形成の相談も積極的に進めていき、メンタル不調の回避や退職などに対応していきたいと考えています。そして各施設が「組織力UP」出来るように施設長を中心に、組織が活性化する取組や企画の提案、支援を進めていき、各施設が職員にとってやりがいのある職場になるようにしていきたいと考えています。

取組の効果

キャリア形成に対するマインドと職員の定着率の向上

当初は研修に対し興味のない職員や否定的な職員も多少いましたが、研修を繰り返していく中で、充実した研修を受けた職員のマインドも上がり「受けて良かった」、「もっと時間をかけて勉強したい」「新たな気づきや、発見があった」などの声が多く聞けるようになってきました。

そして、研修を通じて今まで関わることのなかった当社の他施設の職員との交流やコミュニケーションにもつながり、研修に出席することが1つの楽しみにもなってきました。

研修の様子はSNS等を通じて幅広く発信することにより外部からの評価が上がったり、入居者様やそのご家族に対しては、研修により職員の技術や知識がアップする事が一つの安心材料にもつながっています。そしてやはり一番の効果は職員の定着率の向上につながったことです。

定着率（単年度ごとに算出）は平成26年度の85.8%から平成28年度の95.3%に向上しました。

社員の声

- Q1 自身のキャリアを考えるきっかけ（制度・出来事など）とは？
- Q2 その後、取り組まれたことや起こった変化とは？
- Q3 築いたスキルを今後どう活かしていくか、または将来ありたい姿とは？



有料老人ホームくらたやま
介護副主任、
ブランド戦略PJ統括責任者
渡辺貴之

A1 リーダー研修に参加し与えられた課題に対してのプレゼンを行い優勝したことです。

A2 自分に自信をもって積極的に行動できるようになり、新しいプロジェクトのリーダーになりました。

A3 常に柔軟な発想で新たなことにチャレンジし続け、周囲に影響を与えられるような人を目指しています。



有料老人ホーム みっかいち
安全安心委員長
田端亮太

A1 保育士から異業種に転職して入社すぐの「若者チャレンジ研修」です。

A2 施設内で安全安心委員長の役職につき施設の運営に関わっています。

A3 自分と出会ったお客様が満足していただけるような介護士を目指していきます。